

平成28年度事業報告

(平成28年4月1日から平成29年3月31日)

概況

本協会は、安全良質な鶏卵及びその加工品の安定供給と、知識啓発並びに情報発信事業を行い、鶏卵産業の健全なる発展に寄与するとともに、国民の食生活の向上に資することを目的に活動を行っている。主な活動は、三ツ星タマリエ検定、GPセンターHACCPの推進、ヤングミーティングによる知識啓発情報発信事業等であるが、事業報告の明細にて報告する。

平成28年度は、鶏卵業界にも大きな影響を及ぼした多くの災害が発生した。熊本、大分県で相次いだ地震や、台風10号（7号、11号、9号含む）を中心とした台風は激甚災害に指定された。

熊本、大分地震の被災地ではまだ、復旧の進んでいない地域もあり一日も早い被災者の生活再建と、被災地の復旧復興が望まれる。

又、過去に発生事例のない東北、北海道含め12例の高病原性鳥インフルエンザが発生し、167万羽の家きんが殺処分されて鶏卵業界に大きな被害を齎した。

鶏卵消費については、多くの災害発生から消費減少が懸念されたが、消費税増税を控え将来の不安等から節約志向が強まり、内食回帰の流れが加速したことや、料理の美味しさや健康を意識した食生活への変化も手伝い、鶏卵一人当たり家計消費量は前年対比104.9%と伸長した。

加えて業務用の需要もファーストチェーン、大手外食チェーンの各種キャンペーンと、2,400万人のインバウンドに支えられ鶏卵消費は堅調に推移した。

事業報告の明細

1. 三ツ星タマリエ検定の普及

三ツ星タマリエ検定により鶏卵に関する正しい知識を会得してもらい、タマゴの伝道師として安全で安心な高栄養価の鶏卵の素晴らしさを国民に普及するとともに、食生活には欠かせない鶏卵の消費促進に資する広報の役割を担ってもらうことを期待し、農林水産省後援の下、東京会場、大阪会場、九州会場で開催し、出前検定を兵庫会場、沖縄会場、高松農業高等学校会場で開催した。

三ツ星タマリエ検定は5年目を迎えるが、鶏卵関係者はもとより一般の消費者、高等学校の受検者も増えている。

又、タマゴのソムリエハンドブックの第2版を出版してから3年が経過し、関係法律の改正や各種統計等の見直しの必要性が生じ、第3版の出版に向けた準備を行った。

平成28年度までの認定者は771名である。

2. GPセンターHACCPの推進

グローバル化が進む中、食品の安全性が強く求められている。安全性を担保するためにはHACCP手法による管理が有効であり、今年度もGPセンターHACCPの推進を図ってきた。

認証GPセンターは9施設となり、取得GPセンターは毎年増加している。

又、厚生労働省では、製造・加工・調理・販売等を行う全ての食品等事業者を対象として、HACCPによる衛生管理の制度化の検討を進めている。

このことを踏まえ、平成28年度は「食品の製造過程の管理の高度化に関する措置法」により指定認定機関申請の準備を行った。

3. ヤングミーティングによる知識啓発情報発信事業の取組み

1) たまごニコニコ料理甲子園の開催

11月4日 東京ガス スタジオ プラスジー ギンザで開催されたいたまごの日イベントにて行われた。

鶏卵消費拡大運動の一環として「たまご2個でみんなニコニコ」のメッセージの下、これからの消費を担う高校生以上の学生を対象に、たまごの素晴らしさを知ってもらおうとたまご料理にスポットを当て、味やアイデアを競う創作料理を募集し、全国各県の高等学校から約800作品の応募があった。

決勝戦は、全国6エリアの予選を勝ち抜いた6チームが自慢の創作料理を披露し、昨年に続き北海道・東北エリア代表の「まんまる太陽サレ」がグランプリに選出された。メディア等多数の取材があり、鶏卵の消費拡大につながったイベントであった。

2) タマリエ検定の充実

三ツ星タマリエ検定は、マスコミにも取り上げられていることもあり鶏卵業界外の受検者も増えている。

平成28年度は、東京会場・大阪会場・九州会場、出前検定として兵庫会場・沖縄会場・高松農業高等学校会場で開催し、三ツ星タマリエが新たに232名誕生した。

3) 鶏卵の信頼性向上への取組み

農林水産省でF C P（フード・コミュニケーション・プロジェクト）子ども霞ヶ関見学デーが7月に開催され、食べ物がみんなの家に届くまでの流れをわかりやすく伝えて、みんなが安心して食べられるようにするプロジェクトに参画した。

イベント参画団体で選ぶ「初耳学」で「卵を食べるとコレステロール値が上がる」との誤解が選ばれ、「卵は1日1個まで」が誤解であることが伝えられ、今後F C Pを通じてP Rされることが期待される。

4. 日本畜産物輸出協議会：鶏卵輸出部会への参画

部会活動として日本産鶏卵のロゴマーク等を活用しながら、シンガポール、台湾、香港及びF O O D E X（香港・幕張）に於いてプロモーション活動を行った。又、ウラジオストク、マニラ、マカオ、シンガポールに於いて鶏卵に関する現地調査を行った。

5. 見学研修会・講演会の実施

講演会

定時総会時、メディカルコーディネーター血液診断士 佐藤智春先生を招き、「日本人の現代型栄養失調は卵で解決！～卵は最高のヒーローフード～」と題し講演を行った。

春季見学研修会

7月5日 キューピータマゴ株式会社東京工場を見学した。
東京工場は平成27年3月に稼働を開始し、ファクトリーコミュニケーションをコンセプトに、工場に来るお客様とコミュニケーションを図り、新しい価値を生み出していくことを目指している等説明を受け、キューピー様の取組みに感動した。
又、工場見学では、あらゆる工程に省力化が見られ、衛生管理含め安全安心への取組みは本会として大変参考になるものであった。

秋季見学研修会

11月5日 日本を代表する食品トレーメーカーである株式会社エフピコエコペット工場を見学した。
循環型社会づくりに向けたエフピコ方式によるリサイクルの説明を受けた後、リサイクル工場・エコペット工場、物流センターの見学を行った。ペットボトルのリサイクル製品は50%強が中国等への輸出であること。また社会貢献として積極的に障がい者雇用に努めていた。

物流センターは生産の計画と併せたサプライ・チェーン・マネジメントシステムにより、納品から逆算しての物流計画を立てることにより、物流ミスは100万分の1.5とのことであった。

6. 同業他団体との消費拡大、安全・安心への参画

- ・市販鶏卵の品質検査に参画した
- ・タマゴフェスティバルに参画した
- ・鶏卵公正競争規約に則った活動に参画した
- ・いいたまごの日イベントに参画した
- ・「オムレツの会」オムレツの日記念イベントに参画した

7. 本協会の活動及び委員会の活動

(1) 定時総会

平成28年5月25日 東京都千代田区飯田橋1-1-1 ホテルグランドパレスにて開催し、次の議案が満場異議なく承認された。

- 1) 平成27年度決算書類承認の件
- 2) 平成28年度役員報酬承認の件
- 3) 平成28年度借入金最高限度額承認の件
- 4) 平成28年度会費徴収方法承認の件

議案終了後、平成28年度事業計画・予算計画の報告があり、特段の意見もなかった。

(2) 秋季総会

平成28年11月15日 岐阜県岐阜市長良648 岐阜グランドホテルにて開催し、前期事業報告並びに後期主要行事等報告された。

(3) 理事会

協会の業務執行決定のために次により理事会を開催した。主な議案は次の通り。

第1回 平成28年4月26日（火）馬事畜産会館に於いて

- 1) 平成28年度定時総会議案承認の件
- 2) 災害見舞金規程 内規への追加の件

議案通り承認された。

第2回 平成28年6月15日（水）馬事畜産会館に於いて

- 1) 秋季総会日程及び開催場所の件
- 2) 秋季見学研修会日程及び開催場所の件

議案通り承認された。

第3回 平成28年10月4日（火）馬事畜産会館に於いて

- 1) 平成28年度秋季総会議案の件
- 2) HACCP指定認定機関及び高度化基準作成委員会メンバー・審査員承認の件
- 3) たまごニコニコ大作戦商標登録の件
議案通り承認された。

第4回 平成28年12月6日（火）馬事畜産会館に於いて

- 1) 災害見舞金一部改定の件
- 2) 平成29年度主要事業計画の件
- 3) 理事改選関連の件
議案通り承認された。

第5回 平成29年3月14日（火）馬事畜産会館に於いて

- 1) 平成29年度事業計画及び予算書の件
- 2) 会員入退会の件
議案通り承認された。

(4) 三役会

理事会上程議案について審議を行った。

- 第1回 平成28年4月26日（火）馬事畜産会館に於いて
- 第2回 平成28年6月15日（水）馬事畜産会館に於いて
- 第3回 平成28年10月4日（火）馬事畜産会館に於いて
- 第4回 平成28年12月6日（火）馬事畜産会館に於いて
- 第5回 平成29年3月14日（火）馬事畜産会館に於いて

(5) GPセンターHACCP認証委員会

GPセンターHACCPの認証審査、維持審査を行い、いずれも認証された。

- 第1回 平成28年6月15日（水）馬事畜産会館に於いて
- 第2回 平成28年6月27日（月）電磁的開催
- 第3回 平成28年10月4日（火）馬事畜産会館に於いて
- 第4回 平成29年1月11日（水）ホテルグランドパレスに於いて

(6) ヤングミーティングの活動

チームタマリエ会議 馬事畜産会館及びホテルグランドパレス・東京ガス プラスジー ギンザに於いて

- ・ たまごニコニコ料理甲子園作品募集、エリア予選、エリア代表選考

- 三ツ星タマリエ検定問題作成、タマリエ検定テキスト改訂
- 農林水産省フード・コミュニケーション・プロジェクト参加
- 全国大会を開催し今後の運営方法等について意見交換会を行った

開催日

第1回 4月13日(水) ・ 第2回 5月18日(水)
第3回 6月8日(木) ・ 第4回 7月13日(水)
第5回 8月26日(金) ・ 第6回 9月13日(火)
第7回 10月5日(水) ・ 第8回 11月4日(金)
第9回 12月7日(水) ・ 第10回 1月11日(木)
第11回 2月9日(木) ・ 第12回 3月15日(水)

(7) 会員に関する事項

平成29年3月31日現在 会員数 165社(賛助会員1社含む)

正会員退会

株式会社日本鶏卵

株式会社南濃鶏卵GPセンター

株式会社八百梅

和田鶏卵株式会社